

# 平成30年度 事業報告書

平成30年4月の介護報酬の改定以降、地域包括ケアシステムの推進に向けて、地域の重度要介護者や認知症高齢者の受け入れ、医療や終末期支援の強化として多職種からなるより専門性の高いチームケアの実践を促進しました。また、社会福祉法人が行う地域貢献として、支援が必要な方に対し横断的(医療、福祉、保健、住まい等)に支える地域共生社会の実現と、地域が抱える課題の把握とソーシャルワークの実践を促進しました。

私たちは法人理念「笑顔の創造 心と心意気」のもと「地域福祉の拠点」となり①その有する資源やノウハウを最大限活用 ②在宅サービスの提供 ③地域の要介護者等を支援 ④地域包括支援センターとの密接に連携により、最良の介護サービスを継続して提供できる体制整備の強化に取り組みました。

## 1 中期経営計画書(平成29年度～平成31年度)の重点取り組み事項

1. 社会福祉法人制度改革(社会福祉法改正)の趣旨に基づいた法人経営を実践。
2. ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止に向けての取り組みを引き続き強化。
3. 介護職員等の採用活動を強化。(コスモスのリクルートチームを結成)
4. 働きがいがあり、魅力ある職場づくり。(職員満足度の向上による顧客満足度の向上)
5. 非常災害時における防災体制を整備・強化。(ご利用者、職員の安全の確保)

## 2 適正に事業を運営する

1. 介護老人福祉施設+短期入所 合計稼働率95.1%(目標 98% 前年比+1.7%)
2. 介護老人福祉施設 ①稼働率93.6%(目標 97.5% 前年比+1.9%) ②平均介護度3.84(+0.03)  
③新入居者 23人(前年比▲3人) 自宅16人(内ショートステイ4人) 医療機関4人 その他3人  
④退居者 24人(前年比+2人) 看取り13人(+2人) 医療機関8人 自主退居2人  
⑤介護度別 介護2 3人(0) 介護3 26人(▲1) 介護4 29人(+2) 介護5 20人(0)  
⑥出身地 福井市 63人(+4) 鯖江市 7人(▲2) 越前市 3人(▲1)  
大野市 2人(▲1) 坂井市 1人(0) 池田町 1人(0) 南越前町 1人(0)
3. ショートステイ ①稼働率101.4%(目標 100% 前年比+0.9%) ②平均介護度2.58(▲0.22)
4. デイサービスセンター ①稼働率 55.4%(目標 90% 前年比▲11.8%) ②平均介護度2.04(+0.24)  
③登録利用者数 39人(前年比▲15人)  
④地区別利用者 文殊地区 17人(▲9) 上文殊地区 9人(▲1) 東郷地区2人(0) 酒生地区1人(0)  
麻生津地区 9人(▲2) 市内 1人(▲2)
5. 居宅介護支援事業所 ①登録利用者 要介護者56人(+1) 要支援者11人(+3)

## 3 管理部門

1. 社会福祉法人制度改革の趣旨に基づいた公益性・非営利性の高い法人運営に取り組む。
  - 1) 事業運営の透明性、財務規律の強化、経営組織体制の強化を行った。
  - 2) 社会福祉法人として、公益的取り組みを積極的に行った。
  - 3) 福井県指導監査の実施(対象 介護老人福祉施設、ショートステイ、デイサービスセンター)
2. 地域交流センターを地域交流の場として提供、また、災害時の福祉避難所としての機能の維持に努めた。
  - 1) 介護予防教室の開催(会場の提供)
  - 2) 自然災害時における要介護者の受け入れ ○台風接近時に防災委員会開催及び福井市と連携を図った。
  - 3) 地域(文殊ヶ丘団地、太田町)の高齢者に対し演芸会の案内を4回実施。延73人(前年比+21人)
3. 働きがいがあり、魅力ある職場づくり。
  - 1) 職員の健康の維持・増進のために負担の少ない介護技術の研究。
    - (1) 介護技術・機器(腰痛予防)、労働環境の改善。
      - ① 介護用品の購入 ○車イス移乗ボードを全ユニット配置
      - ② 研修会の開催 ○腰痛予防研修会(内部)等
    - (2) 産業医と連携し、健康増進、メンタルヘルス(悩み、不安、不満)に配慮。
      - ① 職員の健康 ○ストレスチェック実施 ○インフルエンザ予防接種 ○腰痛予防体操等
      - ② 産業医との連携 ○健康相談(毎月) ○施設内の巡回指導
  - 2) 常に自己を高め前進する職員を育成し、人財の定着促進を図るために処遇改善策を検討。

- (1) 役割人事制度(キャリアパス)の推進。 ○全職員に面談を行った。
  - (2) 介護職員処遇改善加算による処遇の向上。 ○処遇改善手当を支給した。
  - (3) 福利厚生 ○職員親子交流会(トマト収穫) ○バレーボール大会出場 ○FBCマラソン出場等
  - (4) 資格取得補助 ○介護職員初任者研修派遣2名
  - (5) 外部研修派遣 ○老施協の処遇委員会等
  - (6) リフレッシュ休暇制度 連続休暇5日間(対象 正職員、入職3年以上) ○取得者10名
4. 福祉サービス第三者評価の結果を受けて福祉サービスの改善の実施。
- 法人全体の理念・基本方針をリーダー会議で確認し部門間の連携を強化した。
  - 管理者のリーダーシップと組織的な対応力の向上を強化した。 運営推進会議、主任会議の開催等。
5. 法人のPRを積極的に発信。
- 1) 介護職員の採用活動を目的にリクルートチームを結成した。 2) リクルート冊子を製作した。
  - ①平成31年度新規学卒者採用 5人(短期大学2人 専門学校2人 高校生1人)
  - ②中途採用者 4人(経験者2人(うち介護福祉士1人)・ 未経験者2人)

#### 4 生活支援部門

1. 地域包括ケアシステムを推進するために地域包括支援センター等と連携。
- 1) 地域包括支援センターとの連携を図った。 ○介護予防教室の開催 1回
  - 2) 文殊地区関係 ①文殊地区敬老会(文殊地区社会福祉協議会)に入居者が参加した。  
②演芸会等のイベントに地域の高齢者を招いた。 コスモス祭り、演芸会等
2. ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止を強化。(目標 身体拘束ゼロの達成)
- 職員全体の人権感覚を高めるため内部研修会を実施した。 ○身体拘束の対象者 2人(前年比+1人)
3. 健康で豊かな生活を支援。
- 1) 生活に潤いを与え、心身の健康増進に取り組んだ。
  - (1) 園芸療法 ○桜、チューリップ、越前スイセン、バラ等を植樹し季節ごとに観賞した。
  - (2) 音楽療法 ○音楽委員会による音楽の会を年4回実施(うち京都音楽院の指導 年2回)
  - (3) 芸術鑑賞療法 ○絵画等の美術品を廊下等に展示をした(約140点)。
  - (4) 新鮮で安全な食材提供 ○トマト、スイカ、メロン、ソーメンカボチャ、聖護院カブ等を栽培。
  - 2) 介護サービスの充実・強化に取り組みました。
  - (1) 中重度の要介護者、認知症高齢者への対応。 ○購入 赤外線センサー2台(転倒防止等)
  - (2) 入居者・利用者の自立支援、機能低下予防。 ○理学療法士(常勤)を配置した。
  - (3) 看取り期の対応充実。 ○購入 エアマットレス2枚
  - (4) 口腔・栄養管理の取り組み。 ○歯科医師の指導実施した(毎月) ○経管栄養 5人(前年比▲1人)
  - (5) 快適な排泄の環境作り。 ○購入 陰部洗浄用ボトル 21個
  - (6) 褥瘡発生ゼロの取り組み。 ○発生者0人
  - (7) 感染症まん延対策の取り組み。 ○内部研修実施 ○感染予防品の整備
4. 生活支援において高い専門性を有する人材育成に取り組みました。
- 1) 福祉資格の取得者数 ○介護福祉士34人(取得割合61.8%) ○介護支援専門員11人
  - 2) 医療的ケア(吸いん等50時間) ○研修修了者16人 研修中1人
5. 家族との関係強化。
- 1) 家族との懇談会及び家族との交流を行いました。 ○トマト収穫体験 ○コスモス祭り ○ユニット催し等
  - 2) インフルエンザ流行期における入居者等の安全確保に取り組みました。  
面会制限(1月17日~3月31日 面会時間9時~17時、面会者の体調確認) ○全体行事中止等。
6. 地域福祉の向上。
- 1) ボランティアの受け入れ。 ○団体(歌、踊り等) ○個人(ギター演奏等) ○日赤奉仕団文殊分団(作業)
  - 2) 保育・教育機関との連携。 ○文殊こども園(ふれ合い) ○文殊小学校(福祉授業)、  
○足羽中学校(介護体験) ○明倫中学校(福祉授業)
  - 3) 福井国体に合わせてコスモスロード(コスモスの花畑)を整備し、環境美化に取り組んだ。
  - 4) 介護資格養成機関より実習生の受け入れ。 ○介護福祉士2人 ○実務者研修1人 ○初任者研修6人